

東部東葛ブロック

臨床検査技師三二学術集談会

11月11日、東部東葛ブロックの臨床検査技師三二学術集談会が行われました。

4年ぶりの現地開催ということもあり日々の診療の間で、地道な研究が行われていることを肌で感じることができました。

全7演題ありましたが、どれも興味深いものばかりでした。

みさと健和病院からは蓑島技師（演題：EDTA 依存性偽血小板減少症における EDTA 過剰添加法の検討）、佐藤技師（演題：当院における不規則性抗体の検出状況について 抄録添付）が発表し、今回は蓑島技師の発表が、東京民医連検査部会学術集談会の発表演題に選出されました！東京民医連検査部会学術集談会は、来年1月に開催予定です。東京民医連の各施設がどのような研究をしているのか、楽しみです。



当院における不規則性抗体の検出状況について

みさと健和病院 佐藤

(はじめに)

当院では、不規則性抗体スクリーニングで陽性になった場合に同定まで院内で行い、どうしても同定できないものや確認が必要なものを、日赤に依頼している。今回、これまでにどのような不規則性抗体が、どれぐらいの頻度で検出されているか調査しました。

(方法)

不規則性抗体同定検査結果が残っていた 2010 年から 2023 年 9 月までの約 13 年分の結果を調べて集計しました。また、輸血学会などの文献を調べ他院所の陽性率や検出された不規則性抗体の傾向を比べました。

(結果)

- 2010 年から 2023 年 9 月までに検出された不規則性抗体は 49 件で、そのうち日赤に依頼して同定できたのが 13 件でした。
- 最近 6 年間の不規則性抗体検査数は平均、年 650 件でその数字から推測すると陽性率はおおよそ 0.6%になりました。
- 検出された不規則性抗体の内訳は下記の表となります。

不規則性抗体	件数 (%)	
抗E	19(39)	
抗Le ^a	4(8)	
抗Jk ^a	3(6)	
抗Fy ^b	3(6)	
抗D ^f	3(6)	
抗Le ^b	2(4)	
抗P1	2(4)	
その他	5(10)	●
2抗体複合	7(14)	
3抗体複合	1(2)	●
合計	49	

その他内訳				
抗Lu ^a	抗D	抗e	抗Bg ^a	knops関連抗体

2抗体複合		
抗E + 抗Jk ^a	抗E + 抗D ^f	抗Jk ^a + 抗Fy ^b
抗Jk ^a + 抗Di ^a	抗Le ^a + 抗Le ^{bH}	抗C + 抗e
抗Di ^a + 抗Yk ^a		

3抗体複合
抗Fy ^b + 抗Le ^a + 抗Le ^{bH}

(まとめ)

- 日赤に依頼したのは 49 件中 13 件で約 73%は院内で同定出来ていた。また、日赤に依頼したものは抗体が複合しているものや、まれな抗体の場合が多かった。
- 文献で調べた他院所の陽性率は、0.5% ~ 1.65%と報告されていて、当院の結果は 0.6%と大きな違いはなかった。
- 2014 年に報告されている日本人が保有する不規則性抗体の研究では、抗 E 26.5%, 抗 Le^a 25.7% 抗 P1 10.6%, 抗 M 6.2%, 抗 E+c 4.1%…の順になっていて、%に差があるが抗 E, 抗 Le^a の順

位は同一であった。また、他院所の報告でもほとんどの院所で抗 E,抗 Le^aの順位は変わらなかった。

- 抗 E, 抗 Le^a以外の不規則性抗体については検出された抗体はほぼ同じだが、検出割合は施設によってかなり違う結果となっていた。これは、病院のある地域や規模で違いが出ていると考えられた。
- 抗 Bg^aや knops 関連抗体など聞いたこともないような抗体が検出されていた。

(最後に)

不規則性抗体が陽性になった時に同定検査を外部に委託している場合は、適合血を準備するのに数日かかってしまうことが多い、今回調査した結果で約 70%が院内で同定出来ていたため、それよりも早く適合血を準備できて、早急な輸血実施につながれていることが分かった。実際に抗 E 単独であったら、不規則性抗体陽性の結果が出てから 1 時間 30 分～2 時間後には適合血の準備が出来ることもあるので、院内で不規則性抗体同定検査を行っていることは有意義なことだと考えられる。

(参考文献)

- オーソ Web セミナー 不規則性抗体①基礎
- アジアにおける赤血球不規則性抗体研究 進捗状況と国内調査結果
Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy , Vol 60.No3
- 埼玉県輸血検査研究班班員の施設と埼玉県内献血者の不規則性抗体検出状況について
- 当院における不規則性抗体検出の推移
国立病院機構大阪南医療センター臨床検査科、血液内科
- 当院における不規則性抗体の検出状況
社会医療法人 製鉄記念室蘭病院
- 慶應義塾大学病院における不規則性抗体検出状況 第 2 報
- 当院における過去 5 年間の不規則性抗体検出状況とその対策